

3月に開催した会社説明会で多かったご質問について回答します！

Q.入社してどんなスキルが身についたと思いますか？

プロジェクトのリーダーとして、常に様々な業界、会社、年齢、性格の人を相手にしたり、チームを組んで一緒に仕事をします。その中で、どんな人とも上手く付き合うコミュニケーション能力や、沢山の人を引っ張るリーダーシップ、自分の考えを相手に理解してもらうプレゼンテーション能力などが身についたと思います。

Q.会社にはどんな服装でいきますか？

基本的に私服の社員が多く、個性も様々です。
服装も自分の印象を決めるひとつの要素（自己演出）なので、相手や場に応じて各自で判断しています。
例えば、大事なプレゼンや初対面のクライアントがいる場合は、信頼感を与えるためにスーツを着ていくなどしています。

Q.年間で何件のイベントに関わりましたか？

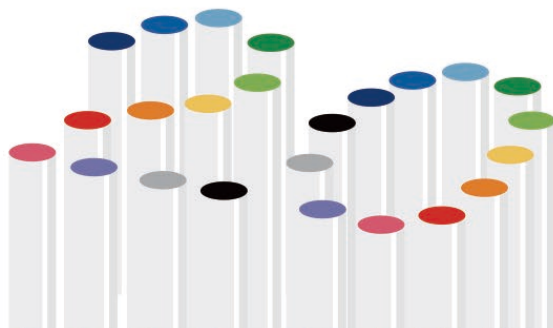
案件の規模や内容にもよりますが、多いと年間で10本以上の案件を担当することもあります。プロジェクトの納品日や進行時期もそれぞれ異なるので、並行して動かしているプロジェクトは平均4～5本程度です。

Q.どのくらいのスケジュール感で仕事をしているのですか？

プロジェクトによって様々です。
大きなプロジェクトだと2年以上になることもありますし、短いものと1ヶ月くらいしか制作期間が無いものもあります。
平均的には、クライアントからオリエンを経て、プランニングから実施まで3～4ヶ月程度のプロジェクトが多いかと思います。

Q.イベントや展示会がオフィスから離れている日はしばらくのあいだ地域に出張滞在するということでしょうか？

実施場所が自宅や勤務地から離れている場合は、設営から撤去まで含めた本番期間中、現地に出張して滞在することになります。
また、本番期間だけでなく、事前の打合せやロケハンでも出張する機会は沢山あります。海外で実施する大型案件などの場合、現地に連続で1ヶ月以上滞在することもあります。



Q.みなさんは、何かスキルを持っていて電通ライブに就職されたのでしょうか？

人によりますが、何か特別な職能を身に付けてから電通ライブに入社したという社員はそんなに多くはありません。

もちろん、持って入れればそれを活かした仕事の選択肢も増えるかもしれませんが、電通ライブの仕事は様々なスキルを持ったプロを束ねて、チームを形成してプロジェクトを推進することなので、何か特別なスキルを身に付けてないからといって心配する必要はありません。むしろ色々な人と今しか出来ない経験を沢山しておいてください。

Q.電通ライブの強みはなんですか？

電通グループという大きな組織ネットワークがあり、規模・内容・ジャンルどれを取っても、携われる仕事の幅がどこよりも多いこと。また、そのような案件の経験値を持った人材が沢山いるため、他に類を見ない数の実績やノウハウを持っていることです。みなさんが携われる仕事の可能性、得られる経験値も無限大だと思います。

Q.何人くらいのチームで一つの仕事をするのでしょうか？

プロジェクトの規模により、1人で担当することもあれば、内容が多岐にわたる場合は十数名でひとつのプロジェクトを推進することもあります。

入社後数年間は、アシスタントとして色々な先輩社員について仕事をしながら、ひとり立ちできるまで経験を積みます。

Q.会社の魅力、雰囲気を知りたいです。

体育会系の大企業体質と思われるかもしれませんが、一般的な広告会社のイメージからは想像できないくらい社長も、役員も、上長も、先輩も、後輩も距離が近くて、とても風通しが良く、若くても自分の意見が言える環境だと思います。

社員に会って、社員同士のコミュニケーションの様子を見れば、すぐに感じていただけると思います。

Q.新人の意見も通りやすい職場ですか？

風通しがよく、誰でも意見を言える環境ではあると思います。良いアイデアだったり、よく考えられた意見であれば、新人だろうが関係なく通ることは沢山あります。



Q.チームで動くことが多いかと思いますが、その上で大切なことはありますか？

ひとつは、敬意と謙虚さを持って誰とでも接することだと思います。そうすることで、自分の立場だけでモノを考えず、相手の立場にも立って考えられます。そしてもうひとつは、自分の言動に責任を持つことだと思います。そうすることで、みんなが自分の味方になって助けてくれます。

社内外関わらず、色々な立場だったり、役割、考えの人と一緒に仕事をしますし、その人たちの助けなしには仕事は完遂できません。また時には厳しさも必要ですが、チームのメンバー全員に出来るだけ気持ちよく、モチベーション高く仕事をしてもらうことが、結果的にチームとして最大の成果を生み出すことに繋がると思っています。

Q.電通ライブの社員の方は本番、どのように動かれるのですか？

現場では、クライアントや営業とスタッフの間に立って、現場の統括責任者として全体を俯瞰して見えています。各セクションが計画通りに進んでいるか、何か予定通りに行かないことや現場で起きた問題などを調整し、意思決定をしながらイベントを完成へと導きます。また、出演者へのブリーフィングを行ったり、本番中も進行状況を見ながらイベントがより良い方向に進むように指示を出したりもします。誰よりも早く会場に入り、設営から撤去が終わる最後まで現場にいるのも電通ライブ社員です。

Q.イベントを行ううえで、1番心がけていることは何ですか？

イベントは1発モノで後で修正が効かないため、絶対に失敗しないようバックアッププランも含めて必ず入念な準備するよう心がけています。

そして、来場者にその場所・その瞬間にしか味わうことの出来ない驚きや感動を与えるために全力を尽くすことです。

Q.メッセージを一言

イベントは来場者の反応をリアルタイムに生で感じる事が出来ます。来場者の驚きや、喜びの声を聞くと、それまでの苦労や疲れも吹っ飛びます。

イベントを成功させた後に、クライアントやスタッフなどチームでの打ち上げは最高ですよ。みなさんと一緒にその瞬間を味える時を楽しみにしています！

